

○九州地方の地震活動

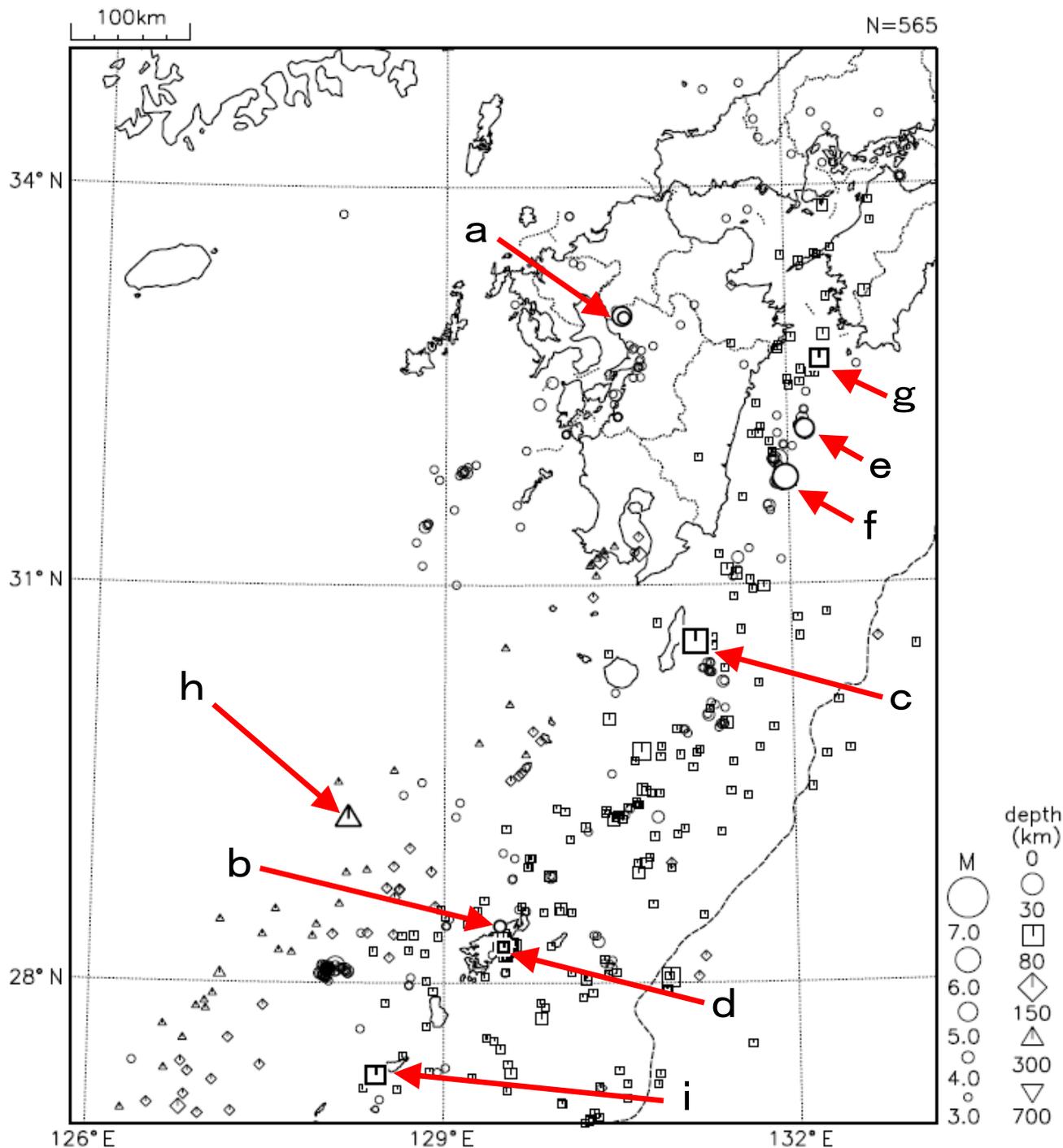


図9 九州地方の震央分布図（2019年1月1日～12月31日、M≥3.0）

〔概況〕

2019年に九州地方で震度4以上を観測した地震は9回（2018年は5回）であった。2019年中の主な地震活動は次のとおりである。

1月3日18時10分に熊本県熊本地方の深さ10kmでM5.1の地震（図9中のa）が発生し、熊本県和水町で震度6弱を観測したほか、九州地方、四国地方、中国地方で震度5弱～1を観測した。この地震により、重傷者1人、軽傷者3人、住家一部破損60棟の被害が生じた（総務省消防庁による）。また、ほぼ同じ場所で1月26日14時16分にM4.3の地震（最

大震度5弱）が発生した。これらの地震は地殻内で発生した。

1月8日10時01分に奄美大島近海の深さ9kmでM4.0の地震（図9中のb）が発生し、鹿児島県奄美市で震度4を観測したほか、奄美群島で震度3～1を観測した。この地震は陸のプレートの地殻内で発生した。

1月8日 21時39分に種子島近海の深さ30kmでM6.0の地震（図9中のc）が発生し、鹿児島県の中種子町、南種子町、宮崎県日南市などで震度4を観測したほか、九州地方と中国地方の一部で震度3～1を観測した。この地震はフィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

2月10日 14時34分に奄美大島近海の深さ36kmでM4.9の地震（図9中のd）が発生し、鹿児島県の奄美市、瀬戸内町（奄美大島、請島）で震度4を観測したほか、奄美群島とトカラ列島の一部で震度3～1を観測した。

3月27日 15時38分に日向灘の深さ21kmでM5.4の地震（図9中のe）が発生し、宮崎県延岡市で震度4を観測したほか、九州地方、四国地方、中国地方で震度3～1を観測した。この地震はフィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

5月10日 08時48分に日向灘の深さ25kmでM6.3の地震（図9中のf）が発生し、宮崎県の宮崎市、都城市で震度5弱を観測したほか、九州地方から近畿地方の一部にかけて震度4～1を観測した。この地震はフィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

5月11日 08時59分に日向灘の深さ36kmでM5.0の地震（図9中のg）が発生し、宮崎県延岡市、愛媛県愛南町、高知県宿毛市で震度4を観測したほか、九州地方、四国地方、中国地方で震度3～1を観測した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。

7月13日 09時57分に奄美大島北西沖の深さ256kmでM6.0の地震（図9中のh）が発生し、鹿児島県の奄美市、喜界町などで震度3を観測したほか、中国地方から沖縄地方にかけて震度2～1を観測した。

12月18日 08時35分に沖縄本島近海（沖永良部島付近）の深さ47kmでM5.1の地震（図9中のi）が発生し、鹿児島県の知名町、和泊町（以上、沖永良部島）、天城町、伊仙町（以上、徳之島）で震度4を観測したほか、鹿児島県（奄美群島）と沖縄県（沖縄島から座間味島にかけて）で震度3～1を観測した。この地震はフィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。